



日本が誇る様々なフルーツ

- 本社所在地：山形県東根市
- 事業概要：青果物仲卸・加工業
- 常時使用する従業員：87名
(2026年2月時点)
- 現在の売上高：17.7億円
(2026年2月期)
- 法人番号：6390001013023
- Web：<https://www.kita-no-delicious.com/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
奥秋 巨

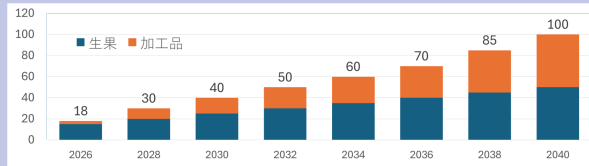
Fruitful*full～もっとフルーツを楽しく、手軽に、身近に～

東根農産センターは持続可能なフルーツビジネス構築を会社方針と掲げ、地元の基幹産業である農業と関連事業の成長発展、地域活性化を目指します。
 農業人口減少、高齢化の歯止めが効かない農業の現状を打破すべく、高付加価値フルーツ加工品を開発し、生産物全てを農業所得に還元いたします。
 自社のみならず、生産者、地域とともに成長出来るビジョン実現のため、加工工場、保管庫新設、勘定システム刷新、従業員の待遇改善などに投資いたします。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2040年の売上高達成に向け、生果の堅実な成長とともに加工品販売伸長にて年率20%程度の成長を目指す。



課題

- ・加工品製造数量、製造速度向上
- ・原料仕入強化に向けた新規生産者開拓、既存生産者の支援
- ・原料・完成品を保管場所確保
- ・販売営業のための営業人員増加・営業人員スキルアップ
- ・顧客開拓のための商談会・展示会出展
- ・海外輸出に向けたマーケティング・市場調査

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・新工場・新倉庫設立
- ・入出庫、原価計算、請求などの勘定統合システム導入
- ・ブランディング戦略として商標登録申請
- ・残渣が活用出来るバイオマス技術導入、販売先確保
- ・デベロッパ、産学連携による海外輸出展開
- ・大規模商談会・展示会への積極的出展
- ・生産者との栽培計画、事業連携スキーム構築
- ・金融機関との長期経営計画・借入計画策定

実施体制

- ・社長直轄プロジェクトチーム発足（26年度内）
- ・オートメーション工場、大規模倉庫新設
- ・工場管理責任者の採用と育成（既存工場研修、外部講師招聘）
- ・国際弁理士連携による商標・特許出願
- ・既存システム管理会社連携による勘定仕訳統合化
- ・大手商社、農水省、地方自治体連携による輸出計画策定
- ・営業・事務人員採用と育成（管理職候補育成プログラム作成）
- ・メインバンクとのシンジケートローン協議

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現に向けて

東根農産センターは、地元山形県の青果物を全国に発信することを目的として1992年に誕生いたしました。当初は山形を代表するフルーツとして、さくらんぼ、すいか、桃などを生のまま、形はそのままに県外の市場や量販店に卸売しておりました。

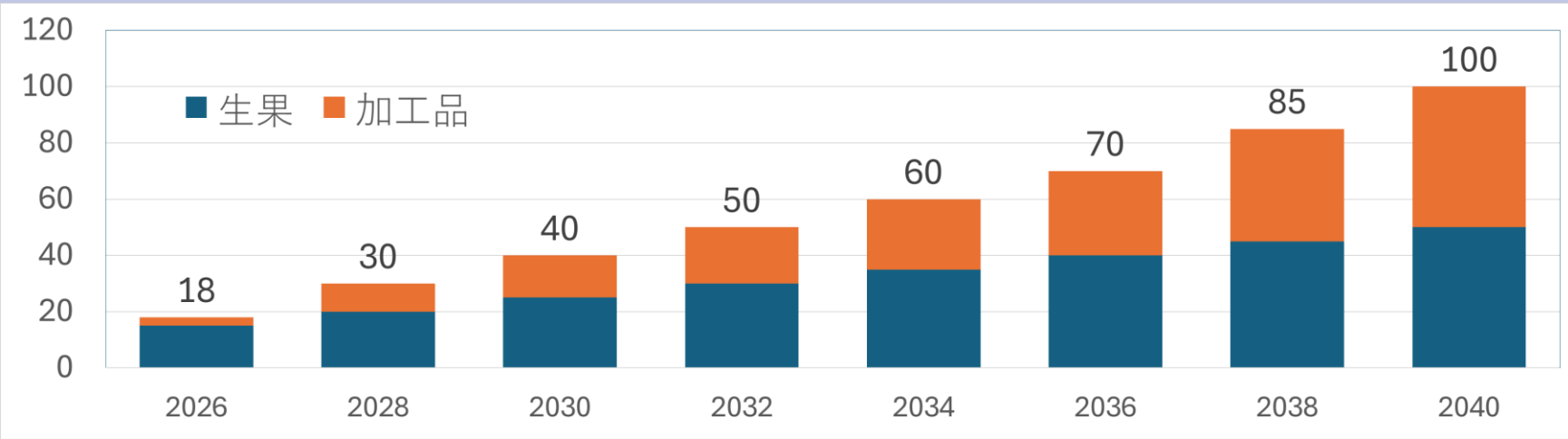
しかし、昨今の生産者高齢化ならびに減少の一途を辿る現状を鑑み、生産者がお金にならず廃棄してしまう青果物や弊社が生果として販売出来ず廃棄している青果物に付加価値を創出しフルーツビジネスをより良く、そして持続可能なビジネスモデルへと昇華する取組が必要であると考え2022年に加工工場を新設いたしました。

加工工場新設によって、生果で販売が出来ず廃棄していた青果物、また、生産者から従来では仕入することが出来なかった青果物の活用が可能となり、更なる生産者支援が可能となったこと。また、フードロス、SDGsに資する取組として今後も更なる事業展開、拡大に努めて参ります。

そのために、製造数量、多様な新商品開発を行うための新工場、新倉庫の設立、多くの生産者を多角的に支援するための生産者支援プログラム、スキームの導入、トレーサビリティ、生産管理、原価管理を厳格に行うための統合システム導入、製造、営業、事務それぞれの新規採用、既存社員育成、残渣活用のための機械導入など青果物を通じて、より地域が盛り上がること。産地活性化の火付け役となり100億企業となるための投資を行って参ります。

加工品の主力として掲げている冷凍フルーツの国内市場は1,000億円と言われており、市場規模は年々増加しております。しかし現状では海外産冷凍フルーツがほとんどであり、国産冷凍フルーツを供給出来る会社はごくわずかしかおらず、弊社が先頭を走り開拓、成長していく存在と成り得ると自負しております。

青果物の新たな楽しみ方、様々な加工品を通じて、国内需要を網羅し売上を拡大すること。そして、将来的には海外輸出を積極的に行うことで、高品質の日本青果物を高付加価値商品として海外に発信出来るよう取り組んで参ります。



売上計画



日本が誇る様々なフルーツ